

平成22年度吉川市市民意識調査報告書

— 概要版 —



©2010 吉川市



吉川市
Yoshikawa City

平成23年2月

吉川市役所はISO9001供給者適合宣言をしています。

市民意識調査の概要

1. 調査の趣旨

この調査は、市政に対する市民ニーズが多様化している中で、市の取り組みについての市民の意向（満足度・重要度）や意識を調査・把握することを目的としています。

また、当市では、ISO9001 供給者適合宣言を行っておりますので、このシステムに基づく要求事項8. 2. 1により、顧客満足度を監視する調査として位置付けています。

この調査の実施に当たり、市内在住の20歳以上の男女1,500人（平成22年10月1日現在）の方にご協力いただきました。

なお、調査項目、調査時期等については次のとおりです。

2. 調査項目

- (1) 回答者の属性
- (2) 吉川市の住み心地
- (3) 市民活動や地域活動への参加希望
- (4) 市の取り組みに対する満足度・重要度
- (5) 生涯スポーツへの取り組み
- (6) 広報事業（議会だより）への取り組みについて
- (7) 行政運営に対する満足度について
- (8) 自由意見



3. 調査時期

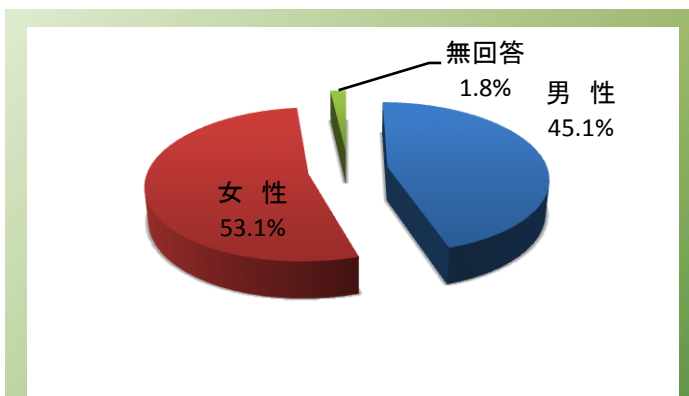
平成22年10月5日（火）から20日（水）

4. 調査方法

郵送配布・郵送回収による調査

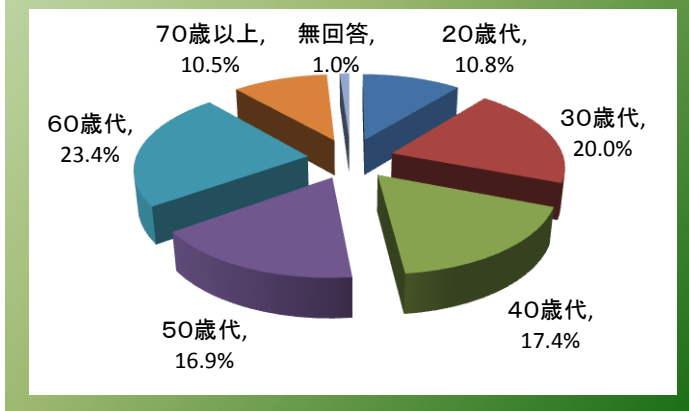
5. 回収結果

有効回収数（率） 765人（51.0%）



(1つ選択)

区分	実数	割合
男性	345	45.1%
女性	406	53.1%
無回答	14	1.8%
母数	765	100.0%

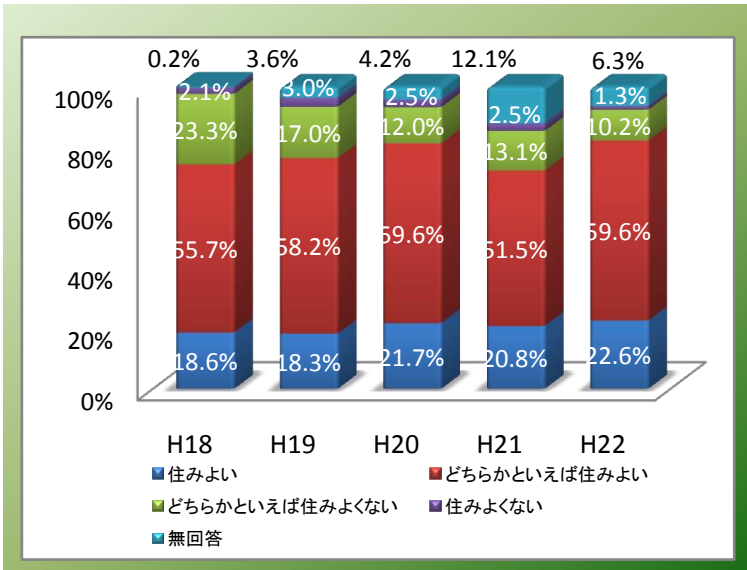


(1つ選択)

区分	実数	割合
20歳代	83	10.8%
30歳代	153	20.0%
40歳代	133	17.4%
50歳代	129	16.9%
60歳代	179	23.4%
70歳以上	80	10.5%
無回答	8	1.0%
母数	765	100.0%

1. 吉川市の住み心地

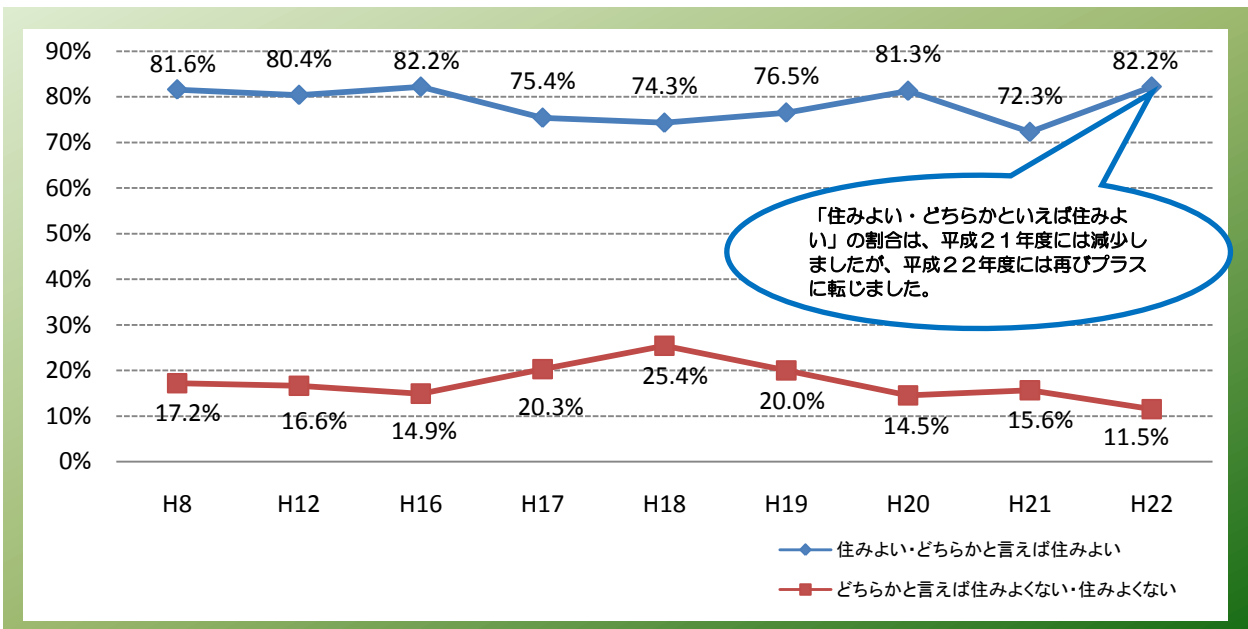
～ 回答者の8割以上が「住みよい・どちらかと言えば住みよい」と感じている ～



吉川市の住み心地を聞いたところ、「住みよい」173人(22.6%)、「どちらかと言えば住みよい」456人(59.6%)、「どちらかと言えば住みよくない」78人(10.2%)、「住みよくない」10人(1.3%)、「無回答」48人(6.3%)となっています。「住みよい・どちらかと言えば住みよい」の合計は、82.2%で回答者の8割が「住みよい・どちらかと言えば住みよい」と感じています。前年度の調査(72.3%)と比較してプラス9.9ポイントとなり、今年度は住み心地の評価がより上昇していることがわかります。

過去5か年の調査結果を見ると「住みよい・どちらかと言えば住みよい」は約72%から約82%の間の範囲で推移しています。

～ 平成21年度調査の「住みよい・どちらかと言えば住みよい」と比べ 9.9ポイント上昇 ～



「住みよい・どちらかと言えば住みよい」の割合は、平成21年度には減少しましたが、平成22年度には再びプラスに転じました。

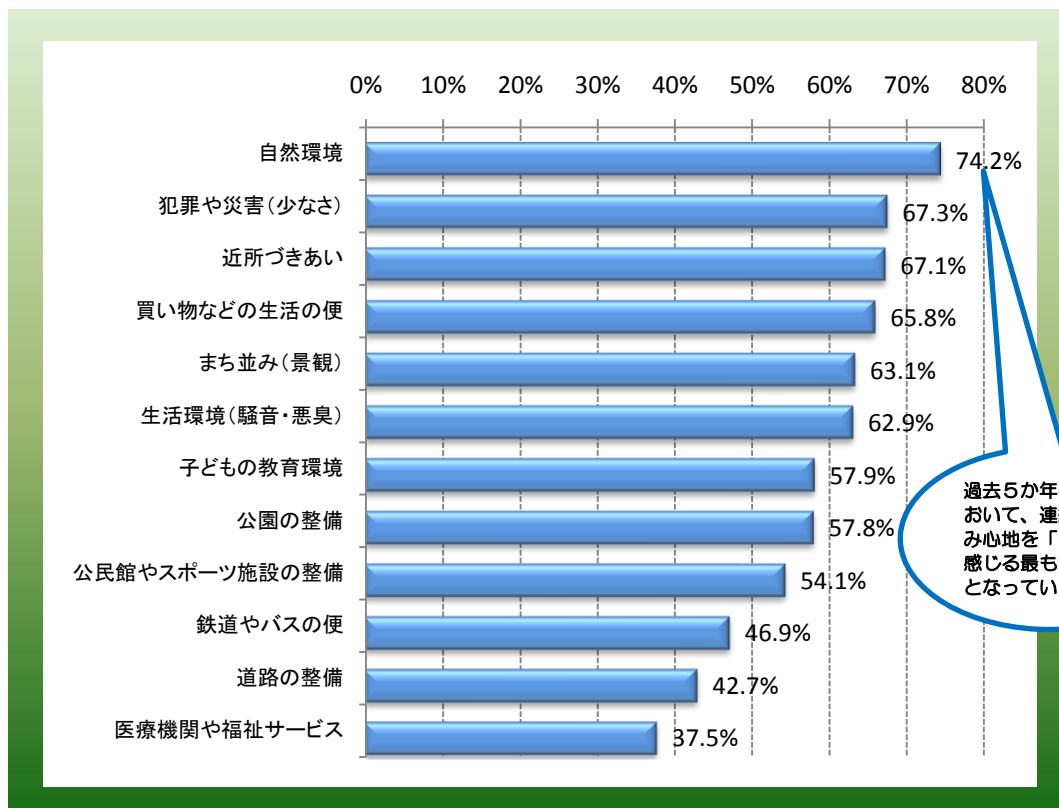
これまで実施した調査の「吉川市の住み心地」について経年変化を見ると「住みよい・どちらかと言えば住みよい」は、平成21年度(72.3%)に平成20年度(81.3%)と比較してマイナス9.0ポイント減少しましたが、平成22年度(82.2%)には、過去最も高かった平成16年度の割合まで増加しました。

「どちらかと言えば住みよくない・住みよくない」は、平成18年度(25.4%)を境に減少傾向となっています。平成22年度(11.5%)は、前年度(15.6%)と比較してマイナス4.1ポイントとなり、5年間の推移の中で最も割合が低くなっています。吉川市は年々、少しずつ住みよいまちになってきていると評価されています。



2. 吉川市の住み心地を「よい」とする理由

～ 住み心地を「よい」と感じる点として
7割以上の回答者が「自然環境」をあげ、最も割合が大きい ～



(該当するもの全て選択)

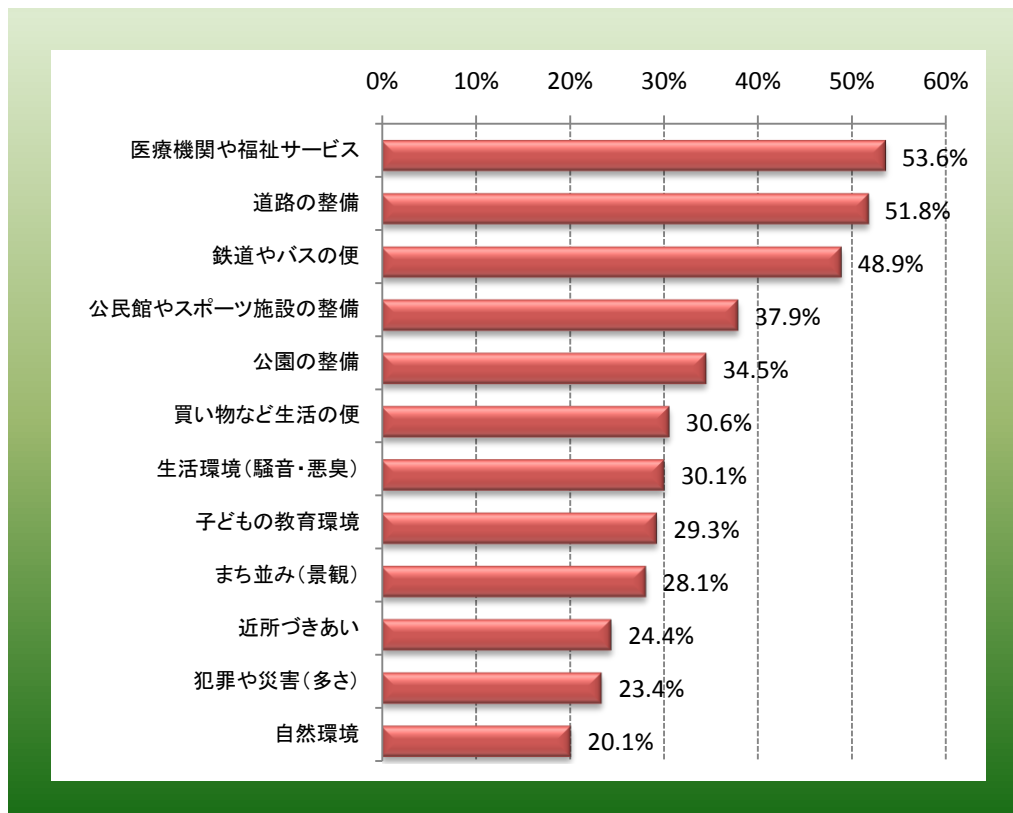
区分	実数	割合
自然環境	568	74.2%
犯罪や災害(少なさ)	515	67.3%
近所づきあい	513	67.1%
買い物などの生活の便	503	65.8%
まち並み(景観)	483	63.1%
生活環境(騒音・悪臭)	481	62.9%
子どもの教育環境	443	57.9%
公園の整備	442	57.8%
公民館やスポーツ施設の整備	414	54.1%
鉄道やバスの便	359	46.9%
道路の整備	327	42.7%
医療機関や福祉サービス	287	37.5%
母数	765	100.0%

吉川市の住み心地を「よい」と感じる理由をうかがった結果、「自然環境」が74.2%（前回調査1番目）で最も多く、前回調査と同じ傾向を示しています。また、2番目「犯罪や災害(少なさ)」が67.3%（前回調査7番目）、3番目「近所づきあい」が67.1%（前回調査3番目）の順番となっており、平成22年度では理由の上位に「犯罪や災害(少なさ)」が上がってきているのが特徴です。



3. 吉川市の住み心地の理由(あまり住みよくない・住みよくない)

～ 住み心地を「わるい」と感じる点として「医療機関や福祉サービス」と「道路の整備」の回答者がそれぞれ5割以上 ～



(該当するもの全て選択)

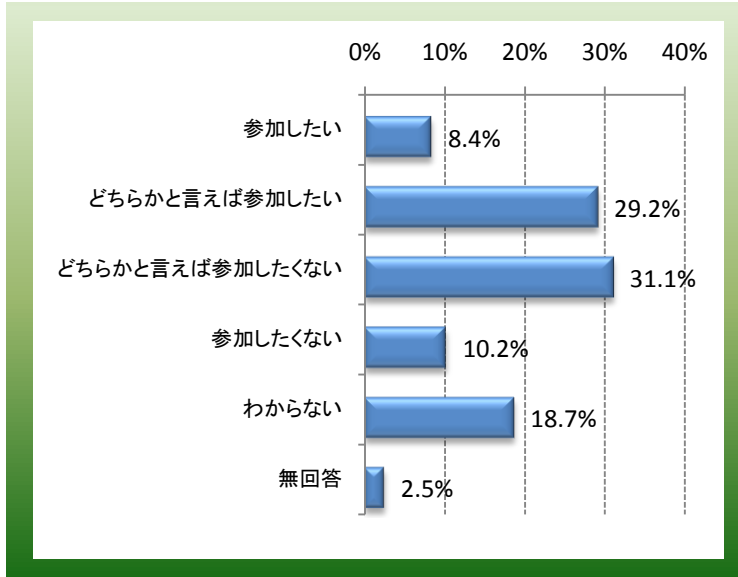
区分	実数	割合
医療機関や福祉サービス	410	53.6%
道路の整備	396	51.8%
鉄道やバスの便	374	48.9%
公民館やスポーツ施設の整備	290	37.9%
公園の整備	264	34.5%
買い物など生活の便	234	30.6%
生活環境(騒音・悪臭)	230	30.1%
子どもの教育環境	224	29.3%
まち並み(景観)	215	28.1%
近所づきあい	187	24.4%
犯罪や災害(多さ)	179	23.4%
自然環境	154	20.1%
母数	765	100.0%

吉川市の住み心地を「わるい」と感じる理由をうかがった結果、「医療や福祉サービス」が53.6%（前回調査1番目）で最も多く、2番目「道路の整備」が51.8%（前回調査2番目）、3番目「鉄道やバスの便」が48.9%（前回調査3番目）の順番となり、平成18年度から平成22年度までの5か年度で理由の上位に大きな変更はありません。



4. 市民活動・地域活動への参加希望

～ 回答者の約4割が市民活動・地域活動に「参加したい」、
「どちらかと言えば参加したい」と感じている ～

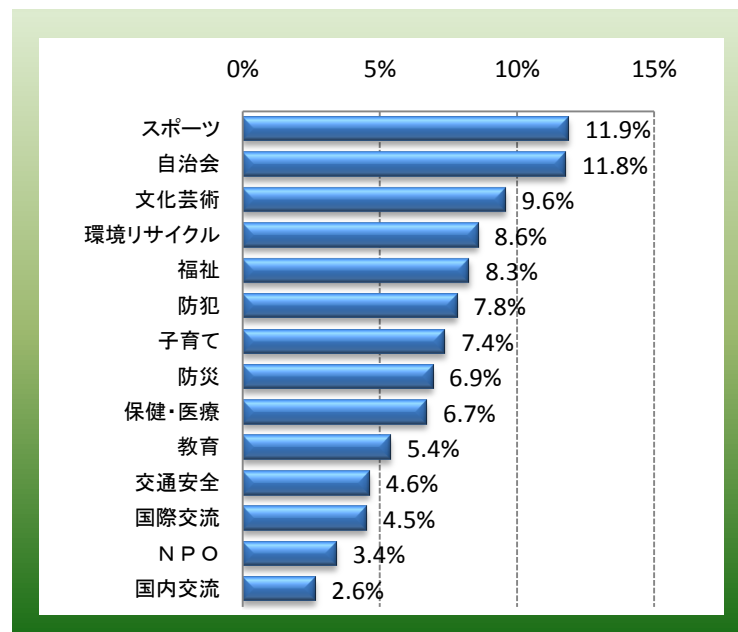


市民活動・地域活動への参加希望を伺ったところ「参加したい」（8.4%）、「どちらかと言えば参加したい」（29.2%）、「どちらかと言えば参加したくない」（31.1%）、「参加したくない」（10.2%）、「わからない」（18.7%）となりました。

前回調査に比べて「参加したい」と回答した人はマイナス2.5%、「どちらかと言えば参加したい」と回答した方はマイナス1.3ポイントと減少しており、「参加したい・どちらかと言えば参加したい」と回答した人の合計はマイナス3.8ポイントとなりました。

(1つ選択)

区分	実数	割合				
		H22	H21	H20	H19	H18
参加したい	64	8.4%	10.9%	5.0%	2.8%	5.6%
どちらかと言えば参加したい	223	29.2%	30.5%	42.8%	48.9%	56.4%
どちらかと言えば参加したくない	238	31.1%	28.9%	28.2%	24.9%	20.0%
参加したくない	78	10.2%	9.3%	6.6%	7.3%	5.1%
わからない	143	18.7%	17.6%	14.2%	13.6%	10.5%
無回答	19	2.5%	2.8%	3.2%	2.6%	2.3%
母数	765	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

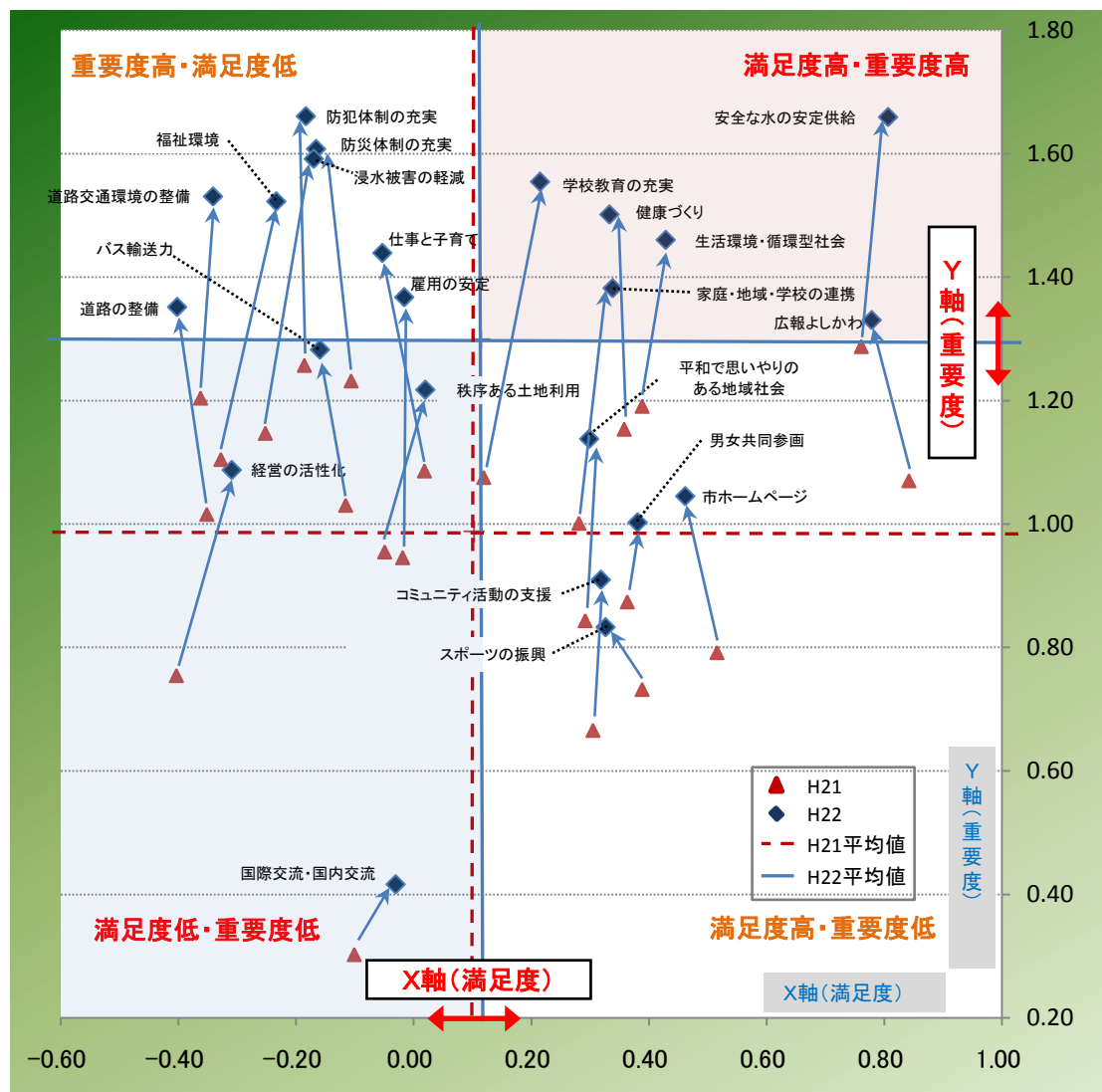


「参加したい」、「どちらかと言えば参加したい」と回答した人に、参加したいと考える市民活動・地域活動をうかがったところ、「スポーツ」（11.9%）、「自治会」（11.8%）、「文化芸術」（9.6%）が参加希望する活動のうち、上位の3つとなりました。



5. 吉川市の取り組みについての満足度・重要度

～ 前年度に引き続き「安全な水の安定供給」が重要度・満足度ともに最も高い結果となり、全ての項目で重要度が高まった ～



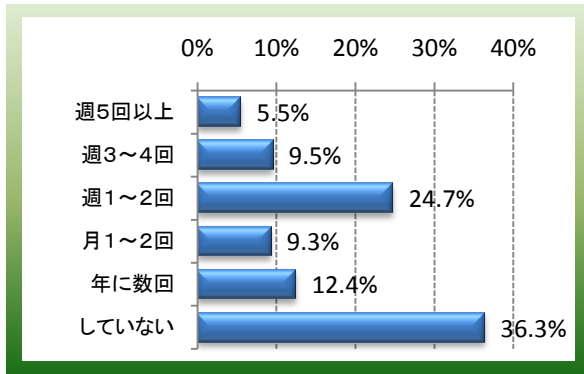
吉川市の取り組みについての満足度・重要度を伺い、その回答を「満足」2ポイント、「どちらかと言えば満足」1ポイント、「どちらかと言えば不満」マイナス1ポイント、「不満」マイナス2ポイント、重要度についてもその回答を「重要」2ポイント、「どちらかと言えば重要」1ポイント、「どちらかと言えば重要でない」マイナス1ポイント、「重要でない」マイナス2ポイントに変換して散布図を作成しました。

この結果、全項目の平均値（満足度0.11、重要度1.30）と各項目を比較した結果、「安全な水の安定供給」に対する取り組み（満足度0.81、重要度1.66）、「広報事業（広報よしかわ）」の取り組み（満足度0.78、重要度1.33）、「生活環境向上・循環型社会に向けた取り組み」（満足度0.43、重要度1.46）、「家庭・地域・学校の連携に向けた取り組み」（満足度0.34、重要度1.38）、「健康づくりへの取り組み」（満足度0.33、重要度1.50）、「学校教育の充実の取り組み」（満足度0.21、重要度1.55）は、重要度・満足度ともに平均値より高い結果となりました。一方、「国際交流・国内交流の取り組み」（満足度マイナス0.03、重要度0.42）は、昨年度より、若干満足度が上昇したものの満足度・重要度ともに平均値より大幅に低い結果となっています。前年度の満足度と重要度を比較すると、満足度では、7項目で満足度が減少したものの、前年度平均値（0.10）から今年度平均値（0.11）と0.01ポイント高くなりました。重要度では、全項目で重要度が高まっており、前年度平均値（0.99）から今年度平均値（1.30）と3.1ポイント増加となりました。全体的に満足度はさほど変わらないものの、全ての項目で重要であると感じる方が増えたことがわかります。

6. 生涯スポーツへの取り組み

～ 運動やスポーツを行っている頻度についてうかがったところ、
行っている方では「週1回から2回」の回答が2割を超え最も多い ～

運動やスポーツを行っている頻度についてうかがったところ、週1回以上の頻度で行っていると回答した方は304人（39.7%）で、その内訳は「週1～2回以上」189人（24.7%）、「週3～4回」73人（9.5%）、「週5回以上」42人（5.5%）の順に多くなっています。その一方、「していない」と回答した方は278人（36.3%）で、週1回以上行っている方とほぼ同じ割合になっています。

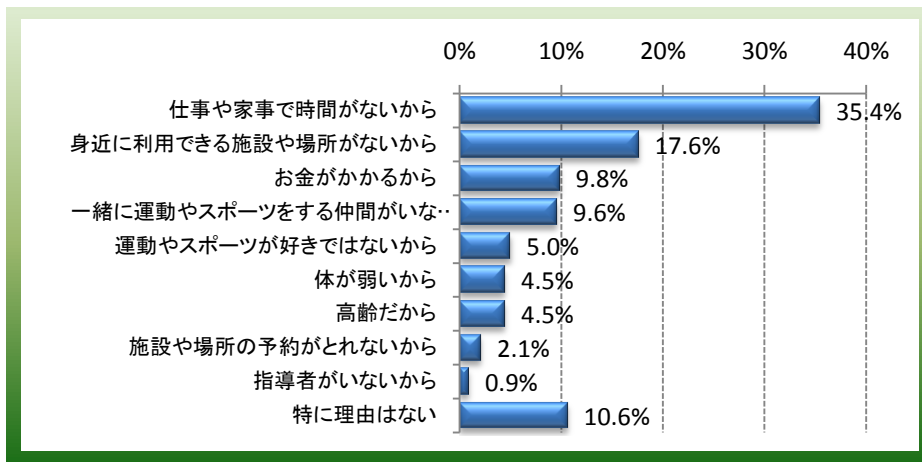


(1つ選択)

区分	実数	割合
週5回以上	42	5.5%
週3～4回	73	9.5%
週1～2回	189	24.7%
月1～2回	71	9.3%
年に数回	95	12.4%
していない	278	36.3%
無回答	17	2.2%
母数	765	100.0%

※小数第2位を四捨五入したため割合の合計は99.9%となっている。

運動やスポーツを行っている頻度について「月1～2回」、「年に数回」、「していない」と回答した方にどのような理由で行っていないのかうかがったところ、「仕事や家事で時間がないから」270人（35.4%）、「身近に利用できる施設や場所がないから」134人（17.6%）、「お金がかかるから」75人（9.8%）、「一緒に運動やスポーツをする仲間がいないから」73人（9.6%）となり、時間がないとの理由が最も多く、これ以外の項目については、概ね5%以下の割合となっています。



(該当するものすべて選択)

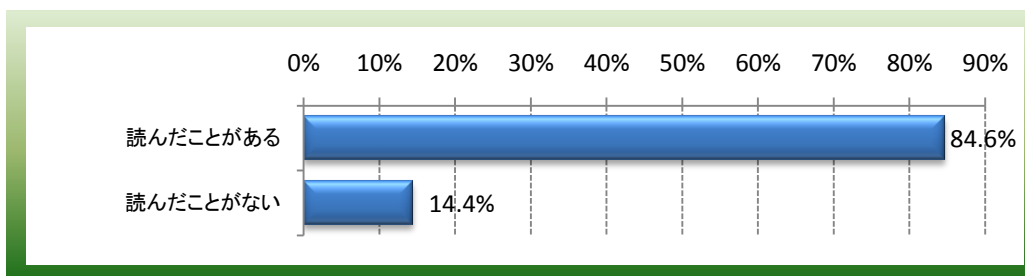
区分	実数	割合
仕事や家事で時間がないから	270	35.4%
身近に利用できる施設や場所がないから	134	17.6%
お金がかかるから	75	9.8%
一緒に運動やスポーツをする仲間がいないから	73	9.6%
運動やスポーツが好きではないから	38	5.0%
体が弱いから	34	4.5%
高齢だから	34	4.5%
施設や場所の予約がとれないから	16	2.1%
指導者がいないから	7	0.9%
特に理由はない	81	10.6%
無回答	0	0.0%
母数	762	100.0%



7. 広報事業(議会だより)への取り組み

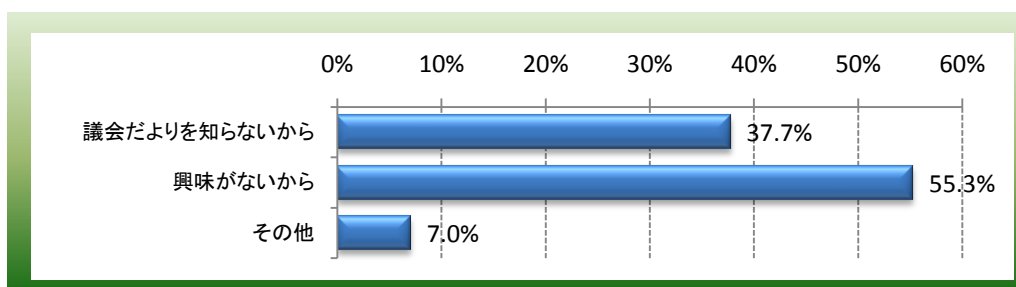
～ 議会だよりを読んだことがある方は8割以上 ～

議会だよりを読んだことがあるかかかったところ、「読んだことがある」647人(84.6%)、「読んだことがない」110人(14.4%)となり、8割以上の方が読んだことがあると回答しています。



区分	実数	割合
読んだことがある	647	84.6%
読んだことがない	110	14.4%
無回答	8	1.0%
計	765	100.0%

「読んだことがない」と回答された理由として「興味がないから」63人(55.3%)、「議会だよりをしらないから」43人(37.7%)となっています。



(1つ選択)

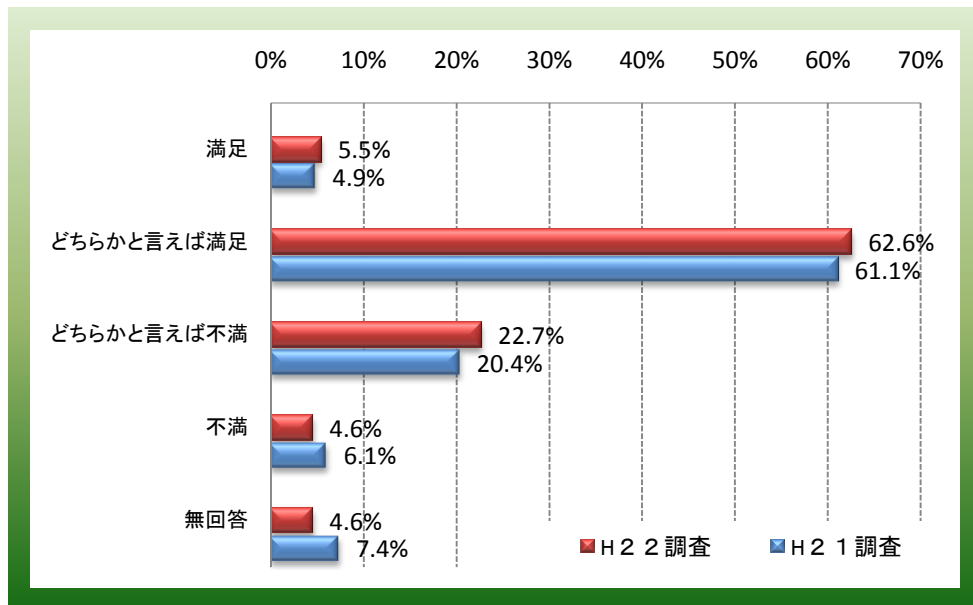
区分	実数	割合
議会だよりをしらないから	43	37.7%
興味がないから	63	55.3%
その他	8	7.0%
無回答	0	0.0%
計	114	100.0%



8. 吉川市全体の取り組みに対する満足度

～ 回答者の約7割が市民サービスへの取り組みについて
「満足・どちらかと言えば満足」と感じている ～

吉川市全体の取り組みに対する満足度をうかがったところ、「満足」（5.5%）、「やや満足」（62.6%）、「どちらかと言えば不満」（22.7%）、「不満」（4.6%）となり、「満足・どちらかと言えば満足」（68.1%）と前回調査（66.0%）と比較して、2.1ポイントの上昇となっています。



(1つ選択)

区分	実数	割合	
		H22調査	H21調査
満足	42	5.5%	4.9%
やや満足	479	62.6%	61.1%
やや不満	174	22.7%	20.4%
不満	35	4.6%	6.1%
無回答	35	4.6%	7.4%
母数	765	100.0%	100.0%



この概要版は、平成22年度市民意識調査報告書に掲載した内容の一部を記載したものです。

発行月 平成23年2月
 発行 吉川市政策室
 〒342-8501 吉川市吉川二丁目1番地1
 048-982-9445 (直通)